

臨床研究「脳卒中患者に対する脳卒中うつスケール（JSS-D）を用いた看護の評価」について

筑波大学附属病院看護部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

脳卒中後うつ病（以下 PSD と称す）は、認知機能や ADL、QOL に大きな影響を及ぼす合併症です。早期からの精神的介入が求められていますが、脳卒中後にみられる抑うつ症状が、ただの落ち込みであると見落とされやすい課題があります。本研究は、脳卒中後のうつ症状を早期発見し予防するために、臨床での看護実践を評価することを目的としています。

② 研究対象者 2022 年 3 月以降、10 西病棟および SCU 病棟に脳卒中のため入院した患者

③ 研究期間 研究機関の長による研究実施許可後 ～ 2025 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法 医療情報を取得する後ろ向き観察研究

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

性別・年齢・疾患名・疾患領域・NIHSS・基礎疾患・家族背景・麻痺の有無・麻痺の程度（MMT）
脳卒中うつスケール（JSS-D）、入院中に実施したリハビリテーションおよび看護の具体的な内容と
患者の反応

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者 筑波大学附属病院 看護部 中山 彩聖

⑦ 研究機関名および研究責任者 筑波大学附属病院 看護部 楠見 由里子

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：10 階西病棟 看護師 中山 彩聖・大山 博子

連絡先 029-853-3900（平日 9:00～17:00）